

令和7年5月30日  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

## 民間競争入札実施事業

「安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務」の実施状況について  
(案)

### I. 事業の概要

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）の安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務（以下「本業務」という。）については、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）」に基づき、公共サービス改革基本方針に従って民間競争入札を行い、令和5年から以下の内容にて業務を実施している。

#### 1. 委託業務内容

本事業は、JAXAが研究開発業務における安全確保及びミッション達成のために行う活動に対する研修を行うため、研修スケジュール管理、研修準備、当日の研修実施、実施結果のまとめについて職員の業務の支援を行うものである。

#### 2. 業務委託期間

令和5年4月1日から令和8年3月31日(3年)

#### 3. 受託事業者

HIREC株式会社

#### 4. 実施状況評価期間

令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間

#### 5. 受託事業者決定の経緯

「安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務」における民間競争入札実施要項に基づき、入札参加者（2者）から提出された提案書について、実施要項に定める技術評価専門部会(令和5年1月24日開催)において審査した結果、評価基準を満たしていた。なお、入札説明会参加者数は2者、仕様書等受領者数は3者であった。

令和5年1月30日に開札した結果、予定価格の範囲内での応札であり、総合評価を行ったところ、上記3.の事業者が落札者となった。

## II. 確保すべき質の達成状況及び評価

民間競争入札実施要項 2. (3) において定めた民間事業者が確保すべきサービスの質の達成状況に対する当機構の評価は、下表のとおり。

評価事項	測定指標	評価
安全・ミッション保証技術研修支援	<p>民間支援業者は、当該案件の調達仕様書に定めた内容に沿って本業務を適切に行うこと。</p> <p>研修終了後のアンケート結果で、7割以上の受講者から5段階評価の上位2つ「有益」、「非常に有益」との評価を得ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約相手方が作成した実施計画書に基づき、研修のスケジュール管理が行われ、年間スケジュール通りに研修が実施された。また各年度において、実施結果のまとめと次年度への反映検討がなされ、実施結果が報告された。</li> <li>・ 令和5年度の評価結果について、レベル1では「有益」「非常に有益」を合わせて93%、レベル2では94%が同様の評価であった。</li> <li>・ 令和6年度レベル1の評価結果については、「有益」「非常に有益」を合わせて92%、レベル2では98%が同様の評価であった。</li> <li>・ Formsによるアンケート回収率は100%であり、レベル1、レベル2共に確保されるべき質を達成している。</li> <li>・ アンケート結果を本資料4頁(別表2)に示す。</li> </ul>
業務引継ぎ方法	S&MA研修を円滑に運営できること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAXAが有していた過去の教材を提示し、落札業者が講義しやすい形に改訂したうえ、研修プログラムを調整することができた。</li> <li>・ 受講者の募集方法や結果の集計の仕方についてJAXA担当職員より直接指導することで、遅滞なく業務を進めることができた。</li> </ul>
業者からの改善提案	業務の改善を進め、より効果的な研修ができること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各年度において、契約相手方から以下の改善提案を受け、S&amp;MA研修を効果</li> </ul>

	と。	的に運用することができた。 ① 様々な所属の受講者の意見交換の場を設けることで、研修内容の理解を深めるだけでなく、受講者自身の視野を広げることを狙う。 ② 受講者からの事前質問を受け、受講者が抱える業務上の課題や困り事を予め講師に伝えることで、研修の充実化を図る。 ③ 事後アンケートの回答期限の設定や未回答者へのリマインドの徹底を図る。
--	----	--

市場化テスト前と第3期の研修回数と参加者人数は以下のとおり。

**【平成26年度~28年度（市場化テスト前）の研修回数及び参加人数】**

研修	回数、人数	平成26年度	平成27年度	平成28年度
レベル1研修	回数	11回	11回	11回
	参加者数	175人	159人	179人
レベル2研修	回数	4回	5回	4回
	参加者数	17人	32人	23人
研修回数合計	回数	15回	16回	15回

**【令和5年度及び令和6年度の研修回数及び参加人数】**

研修	回数、人数	令和5年度	令和6年度
レベル1研修	回数	8回	8回
	参加者数	181人	137人
レベル2研修	回数	8回	8回
	参加者数	81人	58人
研修回数合計	回数	16回	16回

参加人数が減少しているのは、受講必須対象者を中心に案内をしたため。

受講必須対象者

レベル1：JAXA 入社 2~5 年の技術系職員

レベル2：各プロジェクトの S&MA 担当者（令和 5 年度は受講必須対象者の設定なし）

別表2 安全・ミッション保証技術研修支援 アンケート結果

5段階評価の上位二つの占める割合を以下の表に示す。

【令和5年度】レベル1研修アンケート結果

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	93%	181人	100%
研修の進め方/ペースは適切か	79%	181人	100%
テキストの構成は適切か	88%	181人	100%
業務の参考となったか	97%	181人	100%

【令和5年度】レベル2研修アンケート結果

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	94%	81人	100%
研修の進め方/ペースは適切か	77%	81人	100%
テキストの構成は適切か	94%	81人	100%
業務の参考となったか	100%	81人	100%

【令和6年度】レベル1研修アンケート結果

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	92%	137人	100%
研修の進め方/ペースは適切か	85%	137人	100%
テキストの構成は適切か	91%	137人	100%
業務の参考となったか	99%	137人	100%

【令和6年度】レベル2研修アンケート結果

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	98%	58人	100%
研修の進め方/ペースは適切か	83%	58人	100%
テキストの構成は適切か	88%	58人	100%
業務の参考となったか	97%	58人	100%

### III. 実施経費の状況及び評価

#### 1. 実施経費

○従来（平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

・契 約 額：324,410,000 円（税抜）

単年度平均：108,136,666 円（税抜）

（上記のうち、本契約に該当する業務の経費）

・契 約 額：69,778,728 円（税抜）

単年度平均：23,259,576 円（税抜）

○今回（令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

・契 約 額：46,500,000 円（税抜）

単年度平均：15,500,000 円（税抜）

市場化テスト前と第 3 期を比較した場合、業務範囲（業務量）は同等の規模であるものの、第 3 期の方が契約額は減少していた。この理由として以下が考えられる。

- ・業務を S&MA 研修のみに分割することで、競争性が働き、契約金額が下がった。
- ・オンラインツール操作の習熟により、作業効率が上がった
- ・契約相手方において S&MA 専門家の確保により、研修資料作成時間が短縮した。

このことから、市場化テストによる契経費削減効果があったと評価できる。

#### IV. 総合評価

確保すべき質の達成状況について、II のとおり、令和 5 年度のレベル 1 およびレベル 2、令和 6 年度のレベル 1 およびレベル 2 の何れにおいても測定指標を達成していると考えられる。本業務を市場化テストの終了プロセスに照らし合わせると、以下のとおりである。

- ① 事業実施期間中に、受託民間事業者が業務改善指示等を受けたり、業務に係る法令違反行為等を行ったりした事実はなかった。
- ② JAXA において、実施状況について外部の有識者等によるチェックを受ける仕組み（契約監視委員会）を備えている。
- ③ 入札にあたって、資料請求は 3 者からあったものの、説明会には 2 者が参加し、2 者が応札。その後、JAXA 内の総合評価を経て 1 者が落札した。JAXA から提示する教材を利用可能とすることや一部の講師の外注を可能とすることにより、宇宙分野に

限らず鉄道、自動車、産業プラント等の民間事業者の技術において実施することが可能となり、十分な競争性は確保されていると考える。

- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標は達成されている。
- ⑤ 経費については、市場化テスト実施前と第3期を比較した場合、研修回数が同等規模ながら契約額が大幅に減少しており、市場化テストによる経費削減効果があったと評価できる。

なお、市場化テスト2期目より業務を3分割した影響として、各業務間の相互連携をJAXA内部で行うこととなったが、JAXA内部の管理工数削減に向けて関連する業務の効率化を進めていたことが功を奏し、大きな負担なく連携できており、JAXA内業務リソースへの影響はなかった。

## V. 今後の事業

### 1. 今後の競争性確保のための検討

本業務に関し、平成28年度まで、仕様書における仕様内容の表現の見直し、具体的追記を逐次行っていたが、1者応札が続く状況であった。

市場化テストの対象となった平成29年～31年度の契約においても、事業の複数年化、実施要項への記載事項の具体化等対策を行ったものの、1者応札となったところである。

入札に参加した事業者が1者であった理由については「本事業が多岐に渡り、能力的、人力的な対応ができない」「業務量が多く、完遂が困難」等が考えられるため、令和2年～令和4年の契約については、研修業務として分割し契約を行ったものの1者入札であった。

令和5年～令和7年の契約については、多くの事業者が入札に参加できるよう競争性を高めるため公告期間の長めの設定や研修講師の外注を可能とするよう仕様書を見直す等の検討を進めた。その結果、3者が興味を持ち、そのうえで2者の応札を実現したことは評価できる。今後も同様の形で進める。

### 2. 今後の本業務の在り方について

以上のことから、本事業については、良好な実施結果が得られており「市場化テスト終了プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）のIIの1（1）の基準を満たしているため、市場化テストを終了することとしたい。

以上